

中学1年 社会 授業用プリント ④ 世界の諸地域② 南アメリカ州

1 全体像	2・3 自然	4・5 歴史と人々	6・7 暮らしと農業	8 資源と工業	9・10 開発と環境	11・12 日系人とまとめ
-------	--------	-----------	------------	---------	------------	---------------

1 全体像 — 南アメリカ州は、どんな所で、どんな課題がある？

このページのゴール 南アメリカ州の場所と主な国、この単元で学ぶ5つのことを、ざっと言える

日本が輸入するコーヒー豆の約3分の1と、鉄鉱石の3分の1あまりは、ブラジルから来ます（8ページ）。ブラジルには、日本から移り住んだ人々の子孫（日系人）が多くくらしています（11ページ）。一方で、アマゾンの広い森林が減っていることが、世界の問題になっています（9ページ）。



地圖：Natural Earth

国	ようす
ブラジル	首都はブラジリア。面積は南アメリカ州のおよそ半分で、日本の約22倍。ことばは4ページ
アルゼンチン	南東部の国。パンパの草原が広がる（2・7ページ）
チリ	太平洋ぞいに、南北に細長い国
ペルー	アンデス山脈の国。インカ帝国があった（4ページ）
エクアドル	スペイン語で「赤道」という意味の国名

注意 × ブラジルの首都はリオデジャネイロ → 首都はブラジリア（リオデジャネイロはカーニバルで知られる都市。5ページ）

合言葉 「ブラジルの首都はブラジリア」

① 自然と気候 地形と気候	くわしくは 2・3 ページ	② 歴史と人々 植民地から今へ	くわしくは 4・5・11 ページ
アンデス山脈・アマゾン川・パンパと、赤道の近くでもすずしい所		スペインとポルトガルの植民地だった歴史、まじり合った文化、日系人	
③ くらしと農業 森と畑	くわしくは 6・7 ページ	④ 資源と工業 鉱産資源と工業化	くわしくは 8 ページ
アマゾンの森でのくらしと、国ごとの農業		鉄鉱石・銅・石油と、ブラジルの経済の変化	
⑤ 開発と環境 森林が減る問題	くわしくは 9・10 ページ		
アマゾンの開発と、環境を守るくふう			

この単元の問い 南アメリカ州の開発と、環境を守ることは、どんな課題がある？（答えは12ページ）

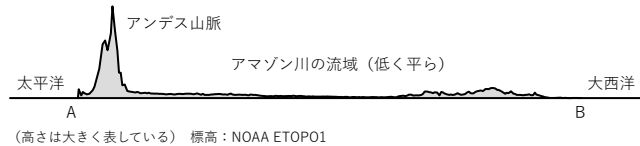
この単元の解説記事（図と例題つき）：[かてきょノート \(katekyo-note.com\)](https://katekyo-note.com/) <https://katekyo-note.com/%e3%80%90%e4%b8%ad%e7%a4%be%e4%bc%9a%e3%83%bb%e5%9c%b0%e7%90%86%e3%80%91%e4%b8%96%e7%95%8c%e3%81%ae%e8%ab%b8%e5%9c%b0%e5%9f%9f%e>

2 南アメリカ大陸の地形は、どんな形？

このページのゴール アンデス山脈・アマゾン川・ラプラタ川とパンバの場所と特徴、赤道が通る所を言える



■ 標高1500m以上の土地
地図：Natural Earth。標高：NOAA ETOP01



地形	場所と特徴
アンデス山脈	西側に南北に連なる。6000mをこえる山々もある
アマゾン川	北部を東へ流れ、大西洋に注ぐ。流域面積が世界一
熱帯雨林	アマゾン川の流域に広がる、世界最大の熱帯林
ラプラタ川	南東部を流れる川
パンパ	ラプラタ川の流域に広がる広い草原（アルゼンチン）
赤道	北部を通る（エクアドル・コロンビア・ブラジルの北部）

大陸のようす

南アメリカ大陸は、南北に細長い大陸です。北部を赤道が通っています（1ページの地図）。

下の断面図は、地図の A—B の線（赤道）にそって、西から東へ切った形です。高さは大きく表しています。

流域面積：雨水が集まって川に流れこむ範囲の広さ。アマゾン川は、**流域面積が世界一の川**

流域面積と長さのちがい

流域の広さの世界一が、アマゾン川です。断面図を見ると、アマゾン川の流域は低く平らで、広い範囲に降った雨水が1本の川に集まります。

西側に高いアンデス山脈が連なり、東側は低い平地や高原が多い



雪をかぶるアンデス山脈の山々（ペルー）



空から見た熱帯雨林と川（ブラジルのアマゾン）

写真：Dick Culbert from Gibsons, B.C., Canada（CC BY 2.0）、Iubasi（CC BY-SA 2.0）。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

合言葉 「西にアンデス、北にアマゾン、南東にパンパ」

注意 × アマゾン川は、長さが世界一の川 → **流域面積が世界一の川**（長さの世界一はナイル川）

3 赤道の近くなのに、すずしい所があるのはなぜ？

このページのゴール 南アメリカ州の気候の並びと、赤道の近くでも高い所がすずしいわけを言える



赤道

ボゴタ

マナオス

■ 熱帯 ■ 乾燥帯 ■ 温帯 ■ 寒帯 ■ 高山気候

気候：H. E. Beck ほか (2023) の Köppen-Geiger 気候区分図 (1991～2020年。CC BY 4.0) を気候帯にまとめた。標高：NOAA ETOP01。
地図：Natural Earth

赤道の近くでも、アンデス山脈の高い所は1年中すずしい（高山気候）。標高が高いほど、気温は低くなる

場所	気候
赤道の近くのアマゾン川の流域	<u>熱帯</u> 。1年中暑く、雨が多い
アンデス山脈の高い所	高山気候。1年中すずしく、1年の気温の変化が小さい
南東部（ラプラタ川の流域など）	<u>温帯</u> 。季節の変化がある
太平洋岸の一部（ペルーの海岸など）	<u>乾燥帯</u> 。雨がほとんど降らない（寒流の影響）
大陸の南のはしの近く	寒帯（山地の一部）。夏でもすずしい。冬の寒さがきびしい <u>冷帯（亜寒帯）</u> は、ほとんど見られない

赤道の近くの2都市

都市	緯度	標高
マナオス（ブラジル）	南緯3.1度	72m
ボゴタ（コロンビア）	北緯4.7度	2547m

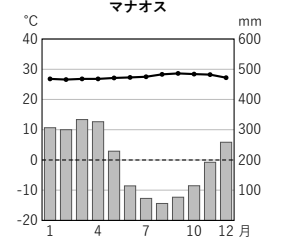
計算してみよう

① 標高の差は、 $2547 - 72 = \text{約}2500\text{m}$

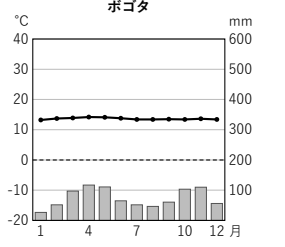
② 100m で約 0.6°C 下がる (②) ので、 $2500 \div 100 \times 0.6 = \text{約}15^{\circ}\text{C}$ 低いはず

③ 実際の気温の差は、 $27.5 - 13.6 = \text{約}14^{\circ}\text{C}$ 。ほぼ合います

マナオス



ボゴタ



年平均気温 27.5°C ・年降水量 2381mm 年平均気温 13.6°C ・年降水量 895mm

雨温図のデータ：気象庁「世界の天候データツール (ClimatView)」地点別平年値

南半球の季節 季節は北半球と逆で、6～8月が冬です (②)。そのため温帯の都市の気温の折れ線は、まん中が低い「谷の形」になります（北半球の東京は「山の形」）。

注意 × 赤道の近くは1年中暑い → 高い所はすずしい

合言葉 「赤道の近くでも、高い所はすずしい」

かてきょノート (katekyo-note.com)

3

4

ブラジルでは、なぜポルトガル語が話されている？

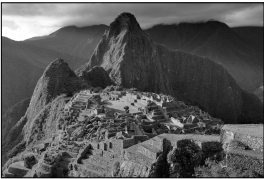
このページのゴール

先住民の文明から植民地・独立までの流れと、国ごとのことば・宗教のわけを言える

①

南アメリカの歴史の流れ

- ①
- もともと：先住民がくらしていた。アンデス山脈の高地にはインカ帝国がさかえ、石づくりの都市や道がつくられた
- ②
- 16世紀：スペインやポルトガルの人々が来た。スペインはインカ帝国をほろぼし、両国が南アメリカのほとんどを植民地にした（ブラジル＝ポルトガル、ほかの多く＝スペイン）
- ③
- 植民地の時代：大農園や鉱山で働かせるため、アフリカから多くの人々が奴隷として連れてこられた（③アフリカ州の奴隷貿易。5ページ）
- ④
- 19世紀の初め：多くの国が独立した
- ⑤
- 19世紀の終わりから：ヨーロッパや日本から、多くの移民が来た（5・11ページ）

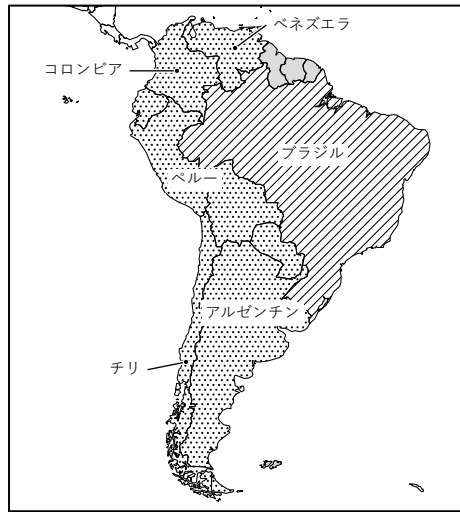


インカ帝国の遺跡のマチュピチュ（ペルー）

写真：Martin St-Amant (S23678) (CC BY-SA 3.0)。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

②

ことばと宗教



ポルトガル語 スペイン語
その他（英語など）
地図：Natural Earth

	植民地にした国	ことば
ブラジル	ポルトガル	ポルトガル語
ほかの多くの国	スペイン	スペイン語
宗教	キリスト教のカトリックが多い（スペインやポルトガルの人々が広めた）	

③アフリカ州と同じく、昔その地域を植民地にした国のことばが、今も使われています。

注意 × 南アメリカ州の国は、すべてスペイン語を話す → ブラジルはポルトガル語（ポルトガルの植民地だったため）

合言葉 「ブラジルはポルトガル語、ほかの多くはスペイン語」

5 南アメリカ州には、どんな人々が暮らし、どんな文化が生まれた？

このページのゴール 先住民・ヨーロッパ系・アフリカ系・アジア系の人々がまじり合って、新しい文化が生まれたことを言える

① 南アメリカ州にくらす人々

人々	だれのこと？
先住民	もともと住んでいた人々
ヨーロッパ系	スペイン・ポルトガルやイタリアなどから来た人々の子孫
アフリカ系	奴隷として連れてこられた人々の子孫
アジア系	日本などから来た移民の子孫（日系人は11ページ）

ちがう民族の人々の間に子どもが生まれ、子孫がふえていくことを混血といいます。南アメリカ州では混血が進み、それぞれの文化がまじり合いました

② まじり合った文化の例：カーニバル

キリスト教（カトリック）の祭り	+	アフリカから伝わった音楽やおどりがもとの <u>サンバ</u>
↓ <u>ブラジルのカーニバル</u>		

サンバのリズムに乗って、パレードが行われます。リオデジャネイロのカーニバルが知られています。カトリックの宗教は、4ページで見たとおり、スペインやポルトガルの人々が広めたものです。



リオのカーニバルのパレード
(ブラジルのリオデジャネイロ)
写真：Tim Fearn (CC BY-SA 3.0)。
Wikimedia Commons より、
白黒にして切り取った

③ 北アメリカ州とくらべよう

北アメリカ州も南アメリカ州も、先住民・ヨーロッパからの移民・アフリカから連れてこられた人々がくらしています。アメリカ合衆国やカナダでは英語がおもに使われますが、南アメリカ州は、スペインとポルトガルの植民地だったので、スペイン語・ポルトガル語とカトリックが多いのがちがいです。

注意 × カーニバルは、アフリカで生まれた祭り → カトリックの祭りに、アフリカから伝わったリズムなどがまじり合って、今の形になった

合言葉 「まじり合って、新しい文化」

6 アマゾンの熱帯林で、人々はどうかくらししてきた？

このページのゴール アマゾン川の流域の人々が、森林と川を生かしてどのようにくらししてきたかを言える

① 森と川を生かしたくらし

場所	くらし
森	<u>焼畑農業</u> で、 <u>キャッサバ</u> （いもの一種）などを育てる。木の実などをとる
川	魚をとる。川は人や物を運ぶ道の役目をし、船で移動する

焼畑農業（②で学んだ）：森林の一部を切って焼き、灰を肥料にして作物を育てる。数年して土地がやせると、別の場所に移る

② 焼畑農業のくり返し

- ① 森林の一部を切って焼く
- ② 灰を肥料にして、キャッサバなどを育てる
- ③ 数年して土地がやせると、別の場所に移る
- ④ もとの畑は、長い年月をかけて、森林にもどる



川ぞいの高床の家（ブラジル）
焼畑のあとの土地（コロンビアのアマゾン）
写真：Dennis G. Jarvis (CC BY-SA 2.0)、Matt Zimmerman (CC BY 2.0)。
Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

③ 自然とくらしのつながり

自然	くらし
1年中暑く、雨が多い熱帯（3ページ）	いも類のキャッサバなどが育つ。木の実もとれる
広い熱帯林	森林の一部を切り開いた、小さな畑で焼畑農業を行う
たくさんの水が流れる大きな川	魚をとる。船で人や物を運ぶ道になる

くふう 森林がもとにもどるのを待ちながら場所を移すことで、人々は森とともにくらししてきた

注意 × 焼畑農業は、同じ畑で何十年も作物をつくり続ける → **数年で別の場所に移る**

合言葉 「焼いて、育てて、移って、森にもどる」

7

南アメリカ州では、どこで何がつくられている？

このページのゴール

ブラジル・アルゼンチンなどの主な農産物と、その場所の自然とのつながりを言える



地域・農産物	自然や歴史とのつながり
ブラジル <u>コーヒー</u>	生産量が世界一。19世紀から大農園でつくられてきた（③の <u>プランテーション</u> =大農園で特定の作物を大量につくる農業）
ブラジル <u>さとうきび</u>	砂糖やバイオエタノール（10ページ）の原料
ブラジル <u>大豆</u>	近年、中西部の草原などに大規模な畑が広がり、生産と輸出が大きくふえた。中国などへ多く輸出される
ブラジル <u>牛の放牧</u>	肉類も多く輸出される
アルゼンチン	パンパ（ラプラタ川の流域の草原）で、 <u>小麦</u> の栽培と牛の放牧
アマゾン川の流域	焼畑農業（6ページ）
アンデス山脈の高地	標高によって作物や家畜を分ける（②の8ページ）

大豆

牛の放牧

コーヒー

さとうきび

小麦

地図：Natural Earth

北アメリカ州とくらべよう

北アメリカ州と同じように、ブラジルやアルゼンチンなども、広い土地で農産物を大規模につくり、世界へ輸出しています。

背景

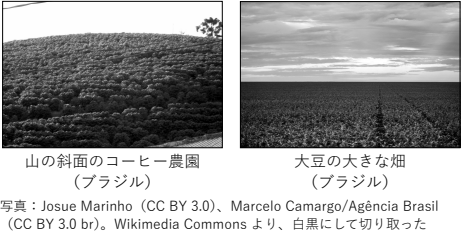
大豆の畑や牛の牧場を広げるために、森林や草原が切り開かれてきた（くわしくは9ページ）

注意

× パンパは、アマゾン川の流域に広がる熱帯雨林 → **ラプラタ川の流域に広がる草原（小麦と牛の放牧）**

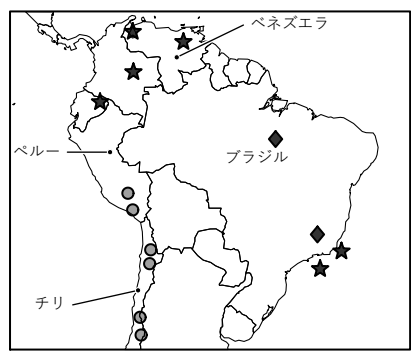
合言葉

「ブラジルはコーヒーと大豆、パンパは小麦と牛」



8 南アメリカ州の国々は、資源と工業でどう変わってきた？

このページのゴール 国ごとの主な鉱産資源と、モノカルチャー経済から工業化へのブラジルの変化を言える

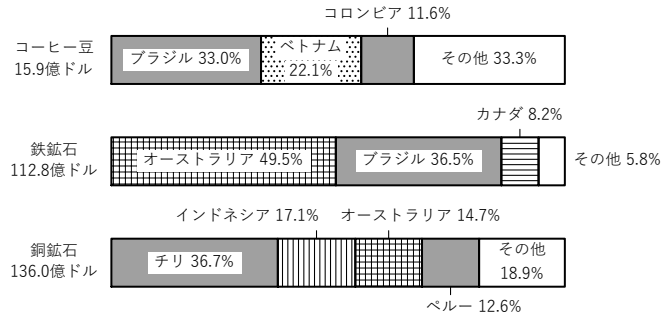


◆ 鉄鉱石 ● 銅 ★ 石油
地図：Natural Earth

国	おもな鉱産資源
ブラジル	鉄鉱石（日本にも多く輸出）
チリ	銅（産出量が世界一）。ペルーでも多い
ベネズエラ	石油。エクアドル・コロンビアや、ブラジルの沖でもとれる

モノカルチャー経済（③で学んだ）：特定の農産物や鉱産資源の輸出にたよる経済

合言葉 「鉄鉱石はブラジル、銅はチリ、石油はベネズエラ」



（国際連合 UN Comtrade の資料による）

- かつて：コーヒーなど特定の産物の輸出にたよるモノカルチャー経済の国が多かった
- 20世紀の後半から：工業化が進み、自動車や航空機などもつくられるようになった
- 今：工業製品とともに、大豆・肉類・鉄鉱石なども多く輸出し、輸出品の種類がふえて、経済が大きく発展した

グラフの読み方

日本が輸入するコーヒー豆の約3分の1と、鉄鉱石の3分の1あまりはブラジルから、銅鉱石の3分の1あまりはチリから来ています。年によって全体の量や額がちがう時は、「全体×割合」で計算してからくらべます。



鉄鉱石の鉱山
（ブラジル）



銅の鉱山
（チリ）

写真：IsabeleC（CC BY-SA 4.0）、Diego Delso（CC BY-SA 4.0）。
Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

背景 鉄鉱石などの鉱山や、運ぶための道路・鉄道をつくるために、森林が切り開かれた所もある

注意 × 銅の産出が世界一の国はブラジル → チリ（ブラジルは鉄鉱石が多い）

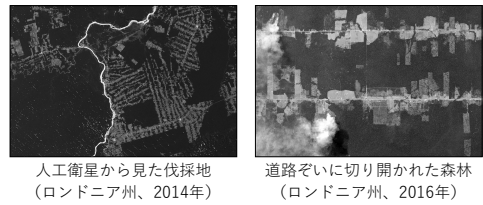
9 アマゾンの森林は、なぜ減っている？

このページのゴール アマゾンで進む開発の中身と、森林が減ることによって起きる問題を言える

開発：道路や農地・鉱山などをつくり、土地や資源を利用できるようにすること

① 開発の流れ

- 1970年代ごろから、森林の中に道路をつくる
- 道路にそって森林を切り開き、牧場・大豆などの畑・鉱山・ダムなどをつくる（とくに牧場が広い）
- 熱帯雨林が減る



写真：O.V.E.R.V.I.E.W. (CC BY 2.0)、Planet Labs, Inc. (CC BY-SA 4.0)。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

② 森林が減ると、どうなる？

	どうなるか
動植物	多くの動植物のすみかが失われる
先住民	森林とともにくらしてきた人々の生活がおびやかされる
地球	二酸化炭素を吸収する森林が減り、 <u>地球温暖化</u> が進むおそれがある

③ 開発の背景

中国や日本などの国々が、大豆・肉類・鉄鉱石などを多く買います。それを売るために、畑・牧場・鉱山が広がりました。開発で経済が発展し、くらしが豊かになった面もあります。

背景 世界の国々が、南アメリカ州の農産物や資源を多く買っている

注意 × 熱帯雨林が減っている原因は、雨が少なくなったこと → 道路や牧場・畑・鉱山をつくるための開発で、森林が切り開かれていること

合言葉 「道路 → 牧場・畑・鉱山 → 森林が減る」

10 開発と、環境を守ることを、どう両立させる？

このページのゴール バイオエタノールのよい点と心配な点、持続可能な開発の意味と取り組みを言える

バイオ燃料：さとうきびやとうもろこしなどの植物からつくる燃料。**バイオエタノール**は、その1つ

ブラジルでの使われ方 さとうきびからつくります。ガソリンにまぜて使うことが決まっています。ガソリンとエタノールをまぜた燃料で走れる車（**フレックス車**）が多く走っています。

- ① さとうきびが育つとき、空気中の二酸化炭素を吸収する
- ② さとうきびからバイオエタノールをつくり、ガソリンにまぜて車の燃料にする
- ③ 燃やすと二酸化炭素を出す、①で吸収した分があるので、大気中の二酸化炭素を増やしくいと考えられている

よい点	心配な点
原料の植物が育つときに二酸化炭素を吸収するので、大気中の二酸化炭素を増やしくいと考えられている	原料の畑を広げるために、森林が切り開かれることもある

持続可能な開発：将来の世代のくらしも考え、環境を守りながら進める開発

取り組みの例	中身
見張る	人工衛星で森林の伐採を見張る
植える	木を植える
アグロフォレストリー	いろいろな作物と木をいっしょに植え、森を育てながら行う農業。アマゾンの日系人の農家が生み出し、世界で注目されている（11ページ）



さとうきび畑とエタノール工場
（ブラジルのサンパウロ州）



エタノールも選べる給油機
（ブラジル）

写真：MARCO AURÉLIO ESPARZ...（CC BY-SA 3.0）、Harry Wood（CC BY-SA 2.0）。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

考え方 アグロフォレストリーが、持続可能な開発の例といえるのはなぜ？ いろいろな作物をつくって収入を得られるので、くらしが豊かになります。同時に、木を植えて森を育てるので、環境も守れます。「くらし」と「環境」の両方を考えているからです。

くふう 環境を守りながら、くらしも豊かにする開発を目指している

注意 × バイオエタノールは、石油からつくる燃料 → さとうきびなどの植物からつくる燃料

合言葉 「開発と環境、両方を考える」

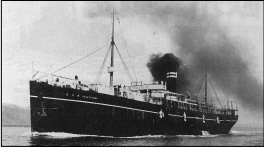
11 ブラジルの日系人は、どんな歩みをしてきた？（もっと知りたい）

このページのゴール 日本からブラジルへの移住の始まりと、日系人がブラジルでしてきたこと、日本とのつながりを言える

日系人：日本から海外に移り住んだ人々と、その子孫

① 日系人の歩み

- ① 1908年：781人の移民を乗せた笠戸丸がブラジルに着き、移住が始まった。はじめはコーヒー農園などで働いた
- ② 農業で活躍：あまり食べられていなかった野菜の栽培を広め、大豆の大規模な農業を進めた
- ③ 1979～2001年：日本とブラジルが協力して、中西部のやせた草原を大豆などの大きな畑に変える開発を行った。日系人の農家を中心になった
- ④ アマゾンでは、日系人の農家がアグロフォレストリーを生み出した（10ページ）
- ⑤ 1990年から：日本の法律が変わり、日系人が日本で働きやすくなって、日本に来て働く人がふえた



最初の移民を運んだ笠戸丸
(1908年、神戸からブラジルへ)
写真：作者不明（パブリックドメイン）。
Wikimedia Commons より、白黒にした

② 数で見る日系人

	人数
ブラジルの日系人	約270万人とされる。日本の外でいちばん多い。サンパウロに多くくらす
日本にくらすブラジル人	約21万人（2025年末）

③ 信頼される日系人

誠実に働き、信頼を得てきたことから、ブラジルでは「**ジャポネス・ガランチード**（日本人は信用できる）」という言葉が使われてきました。

くふう 日系人の農家が、森を育てながら行う農業（アグロフォレストリー）を生み出した

注意 × 日系人は、ブラジルから日本に来た人々のこと → 日本から海外に移り住んだ人々と、その子孫

合言葉 「1908年、笠戸丸から始まった」

12 南アメリカ州の開発と、環境を守ることには、どんな課題がある？

このページのゴール アマゾンの森林が減っている背景を1つの図にまとめ、開発と環境を守ることについて言える（1ページの問いの答え）

① 森林が減る背景の図

世界とのつながり：中国や日本などが、大豆・肉類・鉄鉱石・コーヒー豆などを買う。バイオ燃料も求められる（7・8・9・10ページ）



ブラジルの開発：道路をつくり、牧場・大豆などの畑・鉱山・さとうきびの畑を広げる（9ページ）



よい面 経済が発展し、暮らしが豊かになる	心配な面 熱帯雨林が減る。動植物のすみか・先住民の暮らし・地球温暖化に影響が出るおそれ
--------------------------------	---



持続可能な開発：人工衛星で見張る・木を植える・アグロフォレストリー（10・11ページ）

② 南アメリカ州の特色

	ひとこと	ページ
自然・気候	アンデス山脈・アマゾン川・パンパ。赤道の近くでも高い所はすずしい	2・3
歴史と人々	スペイン・ポルトガルの植民地。ことばと宗教、まじり合った文化	4・5
暮らしと農業	アマゾンの森の暮らし。コーヒー・大豆・小麦と牛	6・7
資源と工業	鉄鉱石・銅・石油。モノカルチャー経済から工業化へ	8
開発と環境	森林の減少と、持続可能な開発	9・10
日系人	1908年の笠戸丸から。農業での活躍	11

③ 問いの答えの例

開発で農産物や資源の輸出がふえ、経済は大きく発展した。一方で、アマゾンの森林が減り、動植物のすみかや先住民の暮らしがおびやかされ、地球温暖化のおそれもある。環境を守ることと開発を両方進める、持続可能な開発が課題になっている。

注意 × 開発をすべてやめれば、課題は解決する → **開発で暮らしが豊かになる面もある。環境を守ることと、開発の両方を考えることが大切**

確認問題① 地形と国・気候

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 南アメリカ州の地形と国について、次の問いに答えなさい。【1・2ページ】



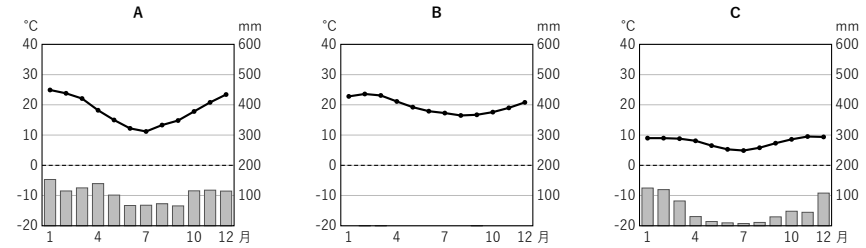
■ 標高1500m以上の土地
地図：Natural Earth。標高：NOAA ETOP01

- (1) Aは、大陸の西側に南北に連なる山脈です。何といますか。 _____
- (2) Bは、大陸の北部を東へ流れ、大西洋に注ぐ川です。何といますか。 _____
- (3) Bの川について、世界一であるものを選びなさい。
ア 長さ イ 流域面積 _____
- (4) Cは、南東部を流れる川です。何といますか。 _____
- (5) Dは、Cの川の流域に広がる草原です。何といますか。 _____
- (6) Fの●は、ブラジルの首都です。この都市の名前を書きなさい。 _____
- (7) Eの線は赤道です。国名が「赤道」という意味の国はどれですか。
ア ブラジル イ チリ ウ エクアドル _____

2 南アメリカ州の気候について、次の問いに答えなさい。【3ページ】

- (1) 赤道の近くの低地に広がる、1年中暑く雨が多い気候帯を何といますか。 _____
- (2) 赤道の近くでも、高い山の上に見られる、1年中すずしい気候帯を何といますか。 _____
- (3) 南アメリカ州にほとんど見られない、冬の寒さがきびしい気候帯を何といますか。 _____

A～Cは、南アメリカ州の3つの都市の雨温図です。



- 雨温図のデータ：気象庁「世界の天候データツール (ClimatView)」地点別平年値
- (4) A～Cのうち、6～8月の気温が低い「谷の形」で、どの月も降水量が50mmをこえるのはどれですか。 _____
 - (5) A～Cのうち、1年中、雨がほとんど降らないのはどれですか。 _____
 - (6) A～Cのうち、1年中気温が10℃より低く、1年の気温の変化が小さいのはどれですか。 _____
 - (7) 南アメリカ州の多くの国がある南半球では、6～8月はどの季節ですか。
ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 冬 _____
 - (8) ボゴタは、同じくらいの緯度にあるマナオスよりすずしいです。そのわけを、「標高」「高い」の語を使って書きなさい。 _____

確認問題② 歴史・人々と文化・くらしと農業

3 南アメリカ州の歴史について、次の問いに答えなさい。【4ページ】

- (1) 南アメリカ大陸の西側の高地でさかえ、石づくりの都市や道をつくった帝国を何といいますか。 _____
- (2) 16世紀に、南アメリカのほとんどを植民地にしたのは、どの2つの国ですか。
ア イギリスとフランス イ スペインとポルトガル ウ ドイツとイタリア _____
- (3) ブラジルで話されていることばは何語ですか。 _____
- (4) (3)のことばが話されているわけとして、正しいものを選びなさい。
ア ブラジルは、ポルトガルの植民地だったから イ ブラジルは、スペインの植民地だったから ウ 先住民が、もともとこのことばを使っていたから _____
- (5) ブラジル以外の多くの国で話されていることばは何語ですか。 _____
- (6) 南アメリカ州で多く信仰されている、キリスト教の宗派は何ですか。 _____
- (7) 次のア～エを、古い順に並べなさい。
ア 多くの国が独立した イ スペインやポルトガルが植民地にした ウ 西側の高地に、先住民の国がさかえた エ ヨーロッパや日本から移民が来た _____

4 南アメリカ州の人々と文化について、次の問いに答えなさい。【4・5・11ページ】

- (1) アフリカから南アメリカへ多くの人々が連れてこられたのは、何のためですか。
ア 大農園や鉱山で働かせるため イ 新しい国をつくるため ウ 学校で教えるため _____
- (2) ちがう民族の人々の間に子どもが生まれ、子孫がふえていくことを何といいますか。 _____
- (3) ブラジルのカーニバルについて、正しい文を選びなさい。
ア イスラム教の祭りである イ 先住民が伝えた祭りが、そのまま続いている ウ キリスト教の祭りに、アフリカから伝わったサンバなどがまじり合ってきた _____
- (4) 日本から海外に移り住んだ人々とその子孫を何といいますか。 _____
- (5) 1908年に、最初の移民を乗せてブラジルに着いた船を何といいますか。 _____
- (6) 日本から移り住んだ人々が農業でブラジルに広めた物を選びなさい。
ア 茶の栽培 イ あまり食べられていなかった野菜の栽培 ウ 羊の放牧 _____
- (7) 「ジャポネス・ガランチード」は、どのような意味の言葉ですか。
ア 日本人は魚が好き イ 日本人は足が速い ウ 日本人は信用できる _____
- (8) 1990年から、日本で起きたことを選びなさい。
ア 日本の法律が変わり、ブラジルなどから来た人々が日本で働きやすくなった イ 日本からブラジルへの移住が始まった ウ 日本で働く外国の人がいなくなった _____

5 南アメリカ州のくらしと農業について、次の問いに答えなさい。【6・7ページ】



地図：Natural Earth

- (1) アマゾン川の流域で、森林を焼いた灰を肥料にして行う農業を何といいますか。 _____
- (2) 次のア～ウを、(1)の農業のくり返しの順に並べなさい。
ア 数年して土地がやせると、別の場所に移る イ 森林の一部を切って焼く
ウ 灰を肥料にして、キャッサバなどを育てる _____
- (3)～(7) 地図のア～オは、それぞれ次のどれにあたりますか。1つずつ選びなさい。
大豆 コーヒー 牛の放牧 さとうきび 小麦
- (3) ア _____
- (4) イ _____
- (5) ウ _____
- (6) エ _____
- (7) オ _____
- (8) ブラジルでは、大農園で特定の作物を大量につくる農業が行われてきました。この農業を何といいますか。

確認問題③ 資源と工業・開発と環境

6 南アメリカ州の資源と工業について、次の問いに答えなさい。【8ページ】

(1) ブラジルで産出が多く、日本にも多く輸出されている鉱産資源はどれですか。
ア 鉄鉱石 イ 銅 ウ 石油 _____

(2) 銅の産出量が世界一の国はどこですか。 _____

(3) 石油が多くとれる国を、南アメリカ州の北部から1つ書きなさい。 _____

(4) 特定の農産物や鉱産資源の輸出にたよる経済を何といいますか。 _____

(5) ブラジルで20世紀の後半から進んだ、工業をさかんにすることを何といいますか。 _____

(6) (5)が進んだブラジルでつくられるようになった物を選びなさい。
ア 羊毛 イ 自動車や航空機 ウ 紅茶 _____

(7) 8ページのグラフで、日本の銅鉱石の輸入額のうち、割合が最も大きい国からの輸入額は、およそ何億ドルですか。小数第1位を四捨五入して答えなさい。 _____

(8) 8ページのグラフから読み取れることとして、正しいものを選びなさい。
ア コーヒー豆の輸入額は、銅鉱石より多い イ 銅鉱石の輸入額の半分近くは、南アメリカ州の国から ウ コーヒー豆は、すべて南アメリカ州の国から _____

7 アマゾンの開発と環境について、次の問いに答えなさい。【9・10ページ】

(1) 1970年代ごろから、アマゾン川の流域の森林を切り開いてつくられた物を、次のア～エからすべて選びなさい。
ア 牧場 イ 農産物をつくる大きな畑 ウ 鉱山 エ インカ帝国の石の道 _____

(2) アマゾンの森林が減ると、どんな問題が起きますか。「動植物」「先住民」「地球温暖化」のうち2つ以上の語を使って書きなさい。

(3) アマゾンで森林が切り開かれた背景として、正しいものを選びなさい。
ア 中国や日本などの国々が、農産物や鉱産資源を多く買うから イ アマゾンの雨が少なくなったから ウ 世界の国々が、南アメリカ州の物を買わなくなったから _____

(4) さとうきびやとうもろこしなどの植物からつくる燃料を何といいますか。 _____

(5) (4)のうち、ブラジルでさとうきびからつくり、ガソリンにまぜて使っているものを何といいますか。 _____

(6) (5)の燃料について、環境によいと考えられるわけと、心配なことを書きなさい。

(7) 将来の世代のくらしも考え、環境を守りながら進める開発を何といいますか。 _____

(8) (7)の取り組みとして、アマゾンの日系人の農家が生み出した、森を育てながら行う農業はどれですか。
ア 焼畑農業 イ プランテーション ウ アグロフォレストリー _____

8 南アメリカ州の開発と環境のまとめについて、次の問いに答えなさい。【12ページ】

(1)～(5) 次の図と表の空らんに入る語を、下から1つずつ選びなさい。 ア スペイン イ 熱帯雨林 ウ 大豆 エ モノカルチャー経済 オ 開発

中国や日本などが、(1) _____ や肉類・鉄鉱石などを多く買う
↓

ブラジルの(2) _____：道路をつくり、牧場・畑・鉱山を広げる
↓

(3) _____が減り、動植物のすみかや先住民のくらしがおびやかされる。一方で、経済が発展する

南アメリカ州の特色	
歴史と人々	先住民 → 16世紀に(4) _____ とポルトガルの植民地に → 独立 → 移民
資源と工業	かつては特定の産物にたよる(5) _____ の国が多く、ブラジルでは自動車や航空機などもつくられるようになった

(6) 南アメリカ州の課題として、最も適当なものを選びなさい。
ア 開発をやめて、森林に手をつけない イ 環境を考えず、開発をもっと進める ウ 環境を守ることと、開発でくらしを豊かにすることの両方を考える _____

かてきょノート (katekyo-note.com)

15

覚えることの一覧（何も見ずに書けるか、紙でかくして確かめよう）

国と首都（1ページ）

ブラジル（首都：ブラジリア。面積は南アメリカ州のおよそ半分で日本の約22倍）／アルゼンチン／チリ（太平洋ぞいに南北に細長い）／ペルー／エクアドル（スペイン語で「赤道」という意味）。リオデジャネイロ（カーニバル）・サンパウロ（日系人が多い）は首都ではない。

地形（2ページ）

南北に細長い大陸。北部を赤道が通る。西：アンデス山脈（6000mをこえる山々もある）。北部：アマゾン川（流域面積が世界一。長さの世界一はナイル川）と熱帯雨林。南東部：ラプラタ川の流域にパンパ（草原）。

気候（3ページ）

場所	気候
赤道の近くのアマゾン川の流域	熱帯（1年中暑く、雨が多い）
アンデス山脈の高い所	高山気候（1年中すずしい。標高が高いほど気温は低い）
南東部	温帯（南半球なので6～8月が冬。気温の折れ線は谷の形）
太平洋岸の一部	乾燥帯（雨がほとんど降らない）

冷帯（亜寒帯）はほとんど見られない。標高が100m高くなると気温は約0.6℃下がる。

歴史・ことば・人々（4・5ページ）

先住民（アンデスにインカ帝国）→ 16世紀 スペイン・ポルトガルの植民地（アフリカから奴隷が連れてこられた）→ 19世紀の初め 独立 → 19世紀の終わりから 移民。ブラジル＝ポルトガル語、ほかの多くの国＝スペイン語。宗教＝カトリックが多い。混血が進み、新しい文化が生まれた（カーニバルとサンバ）。

くらしと農業（6・7ページ）

アマゾンの流域：焼畑農業（切って焼く → 灰を肥料に育てる → 数年で移る → 森林にもどる）、川は道の役目。ブラジル：コーヒー（生産量が世界一）・さとうきび・大豆・牛の放牧。アルゼンチン：パンパで小麦と牛の放牧。

資源と工業（8ページ）

ブラジル＝鉄鉱石、チリ＝銅（産出量が世界一）、ベネズエラ＝石油。かつてはモノカルチャー経済の国が多く、ブラジルは20世紀の後半から工業化が進み、自動車や航空機などもつくる（大豆・肉類・鉄鉱石の輸出も多い）。

開発と環境（9・10ページ）

道路をつくる → 森林を切り開く → 牧場・畑・鉱山・ダムをつくる開発 → 熱帯雨林が減る（動植物のすみか・先住民のくらし・地球温暖化）。背景：中国や日本などが大豆・肉類・鉄鉱石を買う。バイオ燃料（バイオエタノール）：よい点＝二酸化炭素を増やしくいと考えられている／心配な点＝畑を広げるために森林が切られる。持続可能な開発：人工衛星で見張る・木を植える・アグロフォレストリー。

日系人（11ページ）

日系人＝日本から海外に移り住んだ人々と、その子孫。1908年に笠戸丸でブラジルへ。野菜の栽培を広める・中西部の開発・アグロフォレストリー。ブラジルの日系人は約270万人とされる。ジャポネス・ガランチード（日本人は信用できる）。1990年から日本で働く日系人がふえた。

合言葉

「ブラジルの首都はブラジリア」／「西にアンデス、北にアマゾン、南東にパンパ」／「赤道の近くでも、高い所はすずしい」／「ブラジルはポルトガル語、ほかの多くはスペイン語」／「焼いて、育てて、移って、森にもどる」／「鉄鉱石はブラジル、銅はチリ、石油はベネズエラ」／「道路 → 牧場・畑・鉱山 → 森林が減る」／「開発と環境、両方を考える」

確認問題の答えと解説

1【1・2ページ】

- (1) **アンデス山脈**
大陸の西側に連なる山脈。【2】
- (2) **アマゾン川**
北部を東へ流れ、大西洋に注ぐ。【2】
- (3) **イ**
長さの世界一はアフリカのナイル川。アマゾン川は流域面積が世界一。【2】
- (4) **ラプラタ川**
南東部を流れる川。【2】
- (5) **パンパ**
ラプラタ川の流域に広がる草原（アルゼンチン）。【2】
- (6) **ブラジリア**
リオデジャネイロやサンパウロではない。【1】
- (7) **ウ**
エクアドルは、スペイン語で「赤道」の意味。【1】

2【3ページ】

- (1) **熱帯**
赤道の近くのアマゾン川の流域は、1年中暑く、雨が多い。【3】
- (2) **高山気候**
標高が高いほど気温が低い。【3】
- (3) **冷帯（亜寒帯）**
南アメリカ州にはほとんど見られない。【3】
- (4) **A**
南半球の温帯で、折れ線が谷の形。どの月も降水量が50mmをこえる（プエノスアイレス）。Cは6～8月の雨が少ない。【3】
- (5) **B**
雨がほとんど降らない乾燥帯（リマ）。【3】
- (6) **C**
1年中10℃より低い高山気候（ラパス）。【3】
- (7) **エ**
南半球は北半球と逆で、6～8月が冬。【3】
- (8) **（例）ボゴタは、標高が高い所にあるから。**
入れる語：「標高」「高い」。標高が高いほど気温が低い。【3】

3【4ページ】

- (1) **インカ帝国**
アンデス山脈の高地にさかえた。【4】
- (2) **イ**
16世紀に、スペインとポルトガルが植民地にした。【4】
- (3) **ポルトガル語**
ブラジルはポルトガルの植民地だった。【4】
- (4) **ア**
植民地にした国のことばが今も使われる。【4】

- (5) **スペイン語**
ほかの多くの国はスペインの植民地だった。【4】
- (6) **カトリック**
スペインやポルトガルの人々が広めた。【4】
- (7) **ウ → イ → ア → エ**
先住民の国 → 16世紀に植民地 → 19世紀の初めに独立 → 19世紀の終わりから移民。【4】

4【4・5・11ページ】

- (1) **ア**
奴隷として連れてこられた（③の奴隷貿易）。【4】
- (2) **混血**
文化がまじり合った。【5】
- (3) **ウ**
カトリックの祭りに、サンバなどがまじり合った。【5】
- (4) **日系人**
日本から海外に移り住んだ人々と、その子孫。【11】
- (5) **笠戸丸**
1908年、781人の移民を乗せて着いた。【11】
- (6) **イ**
野菜の栽培を広めた。【11】
- (7) **ウ**
誠実に働き、信頼を得てきた。【11】
- (8) **ア**
日本に来て働く日系人がふえた。【11】

5【6・7ページ】

- (1) **焼畑農業**
切って焼き、灰を肥料にする。【6】
- (2) **イ → ウ → ア**
切って焼く → 灰を肥料に育てる → 土地がやせると移る。もとの畑は、長い年月をかけて森林にもどる。【6】
- (3) **大豆**
中西部の草原などに大きな畑が広がった。【7】
- (4) **コーヒー**
生産量が世界一。【7】
- (5) **牛の放牧**
ブラジルやパンパで行われる。【7】
- (6) **さとうきび**
砂糖やバイオエタノールの原料。【7】
- (7) **小麦**
パンパで栽培される。【7】
- (8) **プランテーション**
③で学んだ大農園の農業。【7】

6【8ページ】

(1) ア

鉄鉱石はブラジル（日本にも多く輸出）、銅はチリ、石油はベネズエラ。【8】

(2) チリ

銅の産出量が世界一。ペルーでも多くとれる。【8】

(3) ベネズエラ

石油はベネズエラで多くとれる。エクアドル・コロンビアなどでも正解。【8】

(4) モノカルチャー経済

③で学んだ。かつては、この経済の国が多かった。【8】

(5) 工業化

自動車や航空機などもつくられるようになった。【8】

(6) イ

自動車や航空機などもつくられる。【8】

(7) 約50億ドル

銅鉱石の輸入額136.0億ドルのうち、チリが36.7%。 $136.0 \times 0.367 = 49.9 \dots$ なので、約50億ドル（全体×割合）。【8】

(8) イ

チリ36.7%とペルー12.6%で49.3%。ア：コーヒー豆は15.9億ドルで、銅鉱石の136.0億ドルより少ない。ウ：アジア州のベトナムからも22.1%。【8】

7【9・10ページ】

(1) ア・イ・ウ

道路をつくって森林を切り開き、牧場・大豆などの畑・鉱山・ダムなどがつくられた。エはインカ帝国の話。【9】

(2) (例) 動植物のすみかが失われる。地球温暖化が進むおそれがある。

入れる語：「動植物」「先住民」「地球温暖化」のうち2つ以上。先住民の生活がおびやかされる、でもよい。【9】

(3) ア

買う国があるので、畑・牧場・鉱山が広がった。【9】

(4) バイオ燃料

植物からつくる燃料。【10】

(5) バイオエタノール

ブラジルでは、さとうきびからつくる。【10】

(6) (例) 原料の植物が育つときに二酸化炭素を吸収するので、大気中の二酸化炭素を増やしにくいと考えられるが、原料の畑を広げるために、森林が切り開かれることもある。

入れる語：「二酸化炭素を吸収」「畑を広げる」「森林」。【10】

(7) 持続可能な開発

環境を守りながら、くらしも豊かにする開発。【10】

(8) ウ

いろいろな作物と木をいっしょに植える農業。【10】

8【12ページ】

(1) ウ

多く買う国々が、開発の背景。【12】

(2) オ

道路をつくり、牧場・畑・鉱山を広げる開発が進んだ。【12】

(3) イ

開発で熱帯雨林が減る。【12】

(4) ア

16世紀に、スペインとポルトガルが植民地にした。【12】

(5) エ

コーヒーなど特定の産物の輸出にたよる経済。【12】

(6) ウ

環境を守ることと両方を考える。【12】